

みぶ町政だより



8 月号

昭和50年 8月24日発行

発行所 栃木県壬生町役場（毎月24日発行）

昭和34年 9月30日 第三種郵便物認可一部 9円



納涼盆踊り

今月の人口

8月1日現在	対前月比
総人口 38,640	42人増
男 15,269	26人増
女 15,371	16人増
世帯数 7,646	12世帯増

8月13日から16日までは月おくれのお盆。

14日、15日の両夜には、壬生小学校々庭で恒例の納涼盆踊りが行われ、やぐらを囲んで、校庭いっぱいに踊りの輪がひろがりました。

この盆踊りは、昭和35年に壬生町が初めての工場誘致記念として開催したのが初まりで、それ以来恒例になって毎年盛大に開催しているものです、今では壬生町の名物の一つとなっています。

主唱は、社会教育委員会で、町および各種団体の後援会協賛を得て、子どもからおとしよりまで暑さを忘れて参加し、両夜の出が延べ1万人を超える見物人と踊り子たちでにぎわいました。

9月は“敬老の月”（老人をいたわりましょう）

夏季点検行



壬生町消防団（総三郎団長）では、八月一日午前八時から南大飼中学校々庭で、非常に備えての消防夏季点検が行われました。この日は、朝から暑い中を管内十六部と後援消防隊が参加して、佐藤消防長から服薬点検機械器具の点検を受けました。放水点検は、黒川流域の羽生田橋下流で金岡が「齊に夏空に向って放水の点検を行いました。夏は、とかく火を忘れてしまふ。災害は、忘れたころにやってくる」の諺のとおり、忘れずに災害を未然に防止するよう注意しましょう。

羽生田橋下流で放水点検

九月一日「防災の日」にちなみ全国一斉に防災運動がくりひろげられました。
地震になったら大の十カ条を守り、被害を最小限にとどめましょう。
一、すばやく
火の始末
二、あわてず戸外に飛び出さず、まず、丈夫な家具などに身を寄せ、秩序をとり、衛生に注意せよ。
三、一分遅くとも安全

四、火が出たら、まず消火
五、避難は徒歩で持物は最少限に
六、狭い路地、へいさわ、げけや川べりに寄るな
七、山津波、かけ崩れに注意
八、海岸では津波、低
九、余震を恐れず、デ
マに迷わず、衛生に注意



贈られた千羽鶴

東小へ

千羽鶴を贈る

児童が交通事故にあわないようにと、羽一羽折りの千羽鶴が、七月十日東小へ寄贈されました。

これを贈った方は、至聖町に住む清野きくさん（八十歳）です。清野さんは、毎日交通事故で救急車の通らない日はないような日々、東小の児童が交通事故の犠牲者にならないようにと贈ったのです。

材料は、新聞折込みのナシなど、を正方に切り、折って全部一人で作るという手先の器用なおばあちゃんです。



関 漢 氏

関氏が紺綬褒章を受章

今年で、一万五千ほど折って親類などにやっとなっていました。一日に約八十百くらいは折るといふ熱心な人です。

学校では、校長に飾り、児童や先方から大感謝されています。

八月九日、県庁の苦中において紺綬褒章の伝達式が行われました

老人クラブが

精忠神社を清掃

城内、城南、今井、上栗町の四町内の老人クラブ会員有志が、七月二十七日早朝から、精忠神社境内を清掃を行いました。

この有志は、二十名で各人が鎌や鋤をそれぞれ持ち参り、草取りを行ない、見違えるほどきれいになりました。

これは、近所の人たちや神社関係者から大変感謝されています。



清掃が終って記念写真

9月28日は壬生町議会議員選挙の投票日です

～投票は午前7時から午後6時まで～

ひとり残らず投票しましょう

模範選挙は我家から

明るく正しい選挙推進協議会では、常に明るく正しい選挙を推進しておりますが、来る9月28日町議会議員の選挙が行われることになりましたので、選挙違反のない明るい町づくりのために、みなさんのご協力を是非ともお願いいたします。



県一号会議員
高山 義氏



職務代理者
梁島 定治氏



会長
荒川 三男氏



農業協同組合推せん
神長 正八氏



共済組合推せん
日永 甲子一氏



改良推進協議会委員
鈴木 平治氏

任期満了に伴う農業委員会委員の選挙は、稲葉地区を除き、壬生地区と南大飼地区が七月十五日に投票を行いました。その結果については、町政だより七月号でお知らせしております。

改選が終了した農業委員会では、さる八月四日に第一回目の総会を招集し、役員を選出が次のように行われました。

会長に荒川三男氏（学識経験者として鎌倉選）が選ばれ、職務代理者に梁島定治氏（選挙による）、県一号会議員に高山義氏、栃木地区農業改良推進協議会委員に鈴木平治氏がそれぞれ選ばれました。

また、八月一日付で、共済組合推せん日永甲子一氏と農業協同組合推せん神長正八氏の二名が選ばれました。

栃木県の人口は？

一等に三万円

県と栃木県野協会では、十月一日に行われる県勢調査の栃木県の人口予想を募集します。

これは、県民のみなさん、国勢調査に対する関心を深めていただくとともに、理解と協力を高めることを目的としています。

問題は、昭和五十五年十月一日に行われる国勢調査の「栃木県人口」というものです。

応募者は、県内に住んでいればどなたでも応募できます。

宮製ハガキに「想入人口」を一枚につき二点を書き、それに住所、氏名、年齢、職業、学生は学校名と学年を記入し、宇都宮市藤田一丁目一番一十番栃木県企画部統計課までにお送りください。

〆締切は、九月二十五日。

正解者が多数のときは、抽選で、正解者のない場合は、概算人口に近い順で順を決め、同順位のあるときは抽選により決定します。

〆締切は、九月二十五日。

一等一名：三万円、二等一名：一万円、三等一名：五千円、入選者十名に千五百円をそれぞれ贈呈します。

入選者の発表は、下野、栃木の新聞で発表します。

免許更新講習

九月の日程は、次のとおり。
●十二日（中央公民館）
●二十五日（独協医科大学）
時間は、いずれも午前十時から

壬生町では、次の方が受彰されました。

独協学園理事長 関漢氏
関氏は、昭和四十九年五月に、町の奨学資金として、二百万円を寄附されたので、このたびの紺綬褒章を受彰されたのです。

(注) 時間は、いずれも午後1時30分からです。
7月実施したとき、都合が悪く、できなかった方も受けてください。

11. 11. 11.

来年では
遅すぎる！

付の資金が未だ残存した状態に維持するの措置がとられたことには、特別の思いがいや、経済上都合も、その他理由による、当然たるものに加へ、被爆者の資格があるのに、国民年金未だ加入してないで、今年も年金十二日三十一日まで、に未納除料の金額をいまだめば、愛憎情が与えられさうした夢の如き一通告が与えられさうした。

詳しくは、役所、国民健康保険の年金係へすゝ出向いて相談さういふ事、詳しくいへば、今年の十月三十一日まで、昭和四十三年四月一日以前の過年度の被爆者期間のうちで、これまでつて保険料を納めてゐてゐてきでなかつた期間について、

◇受験資格
一、年令：昭和二十三年四月一日より二十三年四月一日までに生まれた男子
二、学歴：A 大学卒業者
B その他
◇試験日 十月十九日(日)
くわしくは、警察署または駐在所へおたずねください。

第一保育所

一月につき九百円を払込めば、受給権を与えられるわけです。

奥田千秋

用する麻酔薬は、今までの間に、いろいろな種類の薬剤、医院の名前の中から、余り眼につく麻酔科の医科です。ですので、今日私が共麻酔科の医師の仕事について紹介したいと思います。

手術の際の麻酔といえば、ご存知の如く全身に注射して痛みをとめる全身麻酔、背脊に注射して下半身を麻痺させる脊麻注射が静脈に注射して意識を失うような静脈麻酔ではないかと思えます。

麻酔科は、以上の手術に際しては、その他に、呼吸および循環を助ける知識、治療、技術を要しての救急蘇生科の面も仕事の一つとしておこなっています。

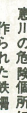
以上も立派な麻酔の方法で現在も多く行われておりますが、むづかしい大きな手術は、これらの麻酔だけでは不充分で出来ないものであります。

近年、他の麻酔方法より麻酔剤が發達し、昔には不可能であつた手術後数時間、赤きやうきやうき、八十歳、九十歳、老人の方の手術、あるいは心臓、肺、食道、脳等の手術が可能となり、多くの人の生命が救はれ、時代になつて來たのです。これ、このためは、患者さんの手術中は勿論のこと、手術前後の仕度がよく知り、これに対応した麻酔および治療が出来なくてはなりません。

私共獨逸醫院大醫院におきながらも、前回の仕事はICU（集中治療センター）として、後の仕事はペインクリニック（疼痛外来）として、近々充足する予定になつております。

手術が行われます手術センターは、日本で最も数多い、最新の設備を備へ、既に開院されて、数多くの手術が毎日麻酔医、外科医の良きチームとして行われて安全、確実なモノとして行われております。

子どもの危険防止に
鉄柵作る



水泳は二十六勝

第二十七回下都賀郡民体育

その結果、壬生町は水泳が昨年に引き続き優勝し、二十六勝を飾りました。

また、他の種目でもよい成績をおさめました。

結果については、次のとおりです。

●水泳：優勝Ⅱ壬生町
準優勝Ⅱ大平町

● 野球：優勝 三王町
準優勝 石橋町

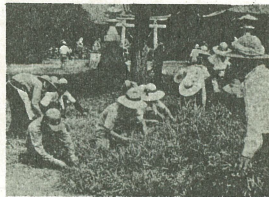
● 婦人バレー：優勝 三王町
準優勝 二王町

● バドミントン：優勝 石橋町
準優勝 三王町

● サツカ：優勝 三王町
準優勝 野木町

● バスケツト
男子：優勝 三王町
準優勝 藤岡町
女子：優勝 三王町
準優勝 石橋町

老人クラブが



園長長寿會 山田時吉会長で、八月二十一日午前七時から、四四所神社の掃部を奉仕しました。この長寿会は、所社の四目豆焼のおとしりの集りで、このおとしりの七十人が加して、この書にも負けてすばらしいなどの掃部を行いました。この行事は、恒例なので、間近にひかえて「風祭」を前にして行なうものです。

また、神社掃部の終了後十時から同賀民館で、大久保生警察出張所長を講師に迎え、交通安全が開かれました。

この交歓教室は、最近、大勢多くなった人の交通安全を、いかにと、所長さんが、たいてい、老人向けの交通事故防止についての講話がありました。みんな熱心と聞きながら

国勢調査



十月一日には、全国いっせいに「昭和五十年国勢調査」が行われます。

国勢調査は大正九年の第一回調査以来五年ごとに行われてきました。

今回の国勢調査は、第十二回目に当たり、全国の一億一、一〇〇万を超える人口と三、三〇〇万に近い世帯を対象とした超大型調査です。

国勢調査は、法律に基づいて国
 が行う調査ですが、その結果は、
 国の政治や行政の資料として使わ
 れるだけでなく、都道府県や市町
 村の地域社会に直結した各種行政
 例えは社会福祉対策、雇用対策、
 交通対策、環境整備計画、住宅建
 設計画、地域開発計画などに広く
 使われます。

県民手帳の

予新纂集中
栃木県のすがたが一目でわかるような資料が載せてあり、その他日記、名簿、生活便覧、付表もついており、二百四十ペー
ジからなるもので、一部二百五十
十円です。

希望者は、回覧でご承知のよう
に九月二十日までに班長さん
を通じて申し込んでください。

ゴミを出すときは、水分をよく切ってから出しましょう。

お知らせ



乳児検診

●とき 九月十六日(火)

●場所 母子健康センター

●対象者

昭和四十九年十月一日から昭和五十年三月三十一日まで生まれた乳児とその保護者

●時間 午前九時から午後三時

●場所 母子健康センター

●対象者

●とき 九月十二日(金)

●場所 母子健康センター

●対象者

●とき 九月十一日(木)

●場所 母子健康センター

●対象者

●とき 九月十日(水)

●場所 母子健康センター

●対象者

●とき 九月九日(火)

●場所 母子健康センター

●対象者

●とき 九月八日(月)

●場所 母子健康センター

●対象者

●とき 九月七日(日)

●場所 母子健康センター

●対象者

●とき 九月六日(土)

●場所 母子健康センター

●対象者

●とき 九月五日(金)

●場所 母子健康センター

●対象者

9月の納税
お忘れなく
国民年金
7・8・9月
国保税
第3期分

時間は午前九時から午後四時

日	町名	医 院 名	電 話
七日	上福業	渡辺医院	1030
十四日	城内	陣内医院	0242
二十一日	安塚	佐藤医院	0123
二十八日	栄町	松本医院	2002
二十九日	舟町	早川医院	0210

当番医師のお知らせ

九月の日曜、祝日は、次の医師以外は全部診になりません。

●当番医師の往診はできません。

妊婦検診と血液検査

●とき 九月十日(火)

●場所 母子健康センター

●対象者

妊婦の方、また、結婚される方の血液検査も併せて実施します。(無料です)

廃犬引き取り日

●とき 九月十一日(水)

●場所 役場本庁

●対象者

犬の引き取り日に出してください。

●とき 九月十日(火)

●場所 役場本庁

●対象者

犬の引き取り日に出してください。

●とき 九月十日(火)

●場所 役場本庁

●対象者

百姓と武士の生活(九)



176

一、屋敷の内、喧嘩口喧嘩の外、何事によらず不慮のさき出果の節は其の近隣の者共は、勿論及見無候。面々早々走附取願ひべし。若し静り難きに於て、及騒動候はば面々居宅に相詰め支配人江相届け差図を得つべき事。打果、候者或は、自殺或は速電の者盡き其の場々出金候者は決して内見致すべからず、封のままだりて差出すべき事。一、子細ありて自然屋敷を立退候者あらば相部屋の者共々支配人に相届けべし。同宿なき旅は、其の近隣の輩が早速申出べし。若し事を執続し、長屋に於いて、琴三味線無用なるべし。小歌浄瑠璃、惣じて不相应の高声音曲は早口振りに致すまじき事。附、表長屋より買物致すべからず、惣じて何によらず窓に溜り来りたるまじき事。一、他所より来候者は仮々御類たり共、一宿敷せ申間敷。

若無提用事につき留置度節は支配人に申達し差図をつくれし女房たり共、一宿敷せ候節は書面を以て、月役差断置差戻し候時も相届け、一宿に及び候とき同様の可得差図事。一、御直参の方入来の節は問は言に及ぼす屋敷の中途にて出金候はば重き方へは行付申す事。差控さ罷りあるし、仮々重き衆中たりとも應付仕間敷事。附、家中へ来候所の客に對し、足軽以下の者無仕間敷候。供をつれ候程侍等に是路を上げ通るべし。此の旨組支配人江は其の頭々、又その者へは其の主入急度申付し。並屋敷出入候町人触売の商人迄かさいまじき事。仕がるよりに申付候儀同前たるべき事。一、家中の土並に軽き未々違事主の留守の毛々相越し、妻女娘等計居候節、親兄弟伯父母親縁は格別なれど、此の外の者は無用の雜談に居致すまじき事。一、悪所は云うに及ばず遊女等や場所江罷越間敷候。此の外、茶屋狂言居は候に参るまじき事。一、近所出火の節は、家中の十早居居宅江相詰め差図に任す可候。仮々違所出火たり共及大火候体には候はば、臨時出馬等の節、供並に入数差図候節の心懸致すべき事。

「筆者 大垣」

“お知らせ”が出来ますから早く配布しましょう。